

平成 29 年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価  
小規模多機能ホームおあしす南谷山

◆事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (20 : 00 ~ 21 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 坂下、岩重、天野、成松、藤後、大川内、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	1人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・スタッフ間での情報共有の仕方について、5W1Hをきちんと整理して記載するように徹底するなどの見直しを行う。</li><li>・業務分担について再考し、リーダーやキッチン業務のスタッフが送迎や訪問に出る回数を増やす。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・記録の勉強会への参加をすることで、記録が必要な情報について、自分で整理しながら記録することが出来るようになった。</li><li>・業務分担については、送迎や各業務分担など、まだまだ出来ていないことが多い。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	11	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	2	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	8	2	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	2	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・申し送りや、家族との会話、連絡帳でのやり取りの中で情報の共有が出来ている。</li><li>・利用開始から間もない方についても、目配り気配りを行うことで、変化に気付くように心掛けている。</li><li>・スタッフ間の情報伝達が少しずつではあるが出来るようになってきている。</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・意見集約の際、意見を求めてもなかなか意見が集まらないことがあり、情報が十分に集められているとはいえない。</li><li>・当日の利用者が多い日に、充分な関わりが出来ていないことがある。</li><li>・情報伝達は出来ているように思うが、スタッフ間で理解が不十分であると思われる事がある。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・業務分担について、新年度に向け再整理を行う。</li><li>・送迎や訪問サービスについて、ルートの見直しやスタッフの配置など工夫を行い、リーダーがきちんと管理できるようにする。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (20 : 00～21 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 坂下、岩重、天野、成松、藤後、大川内、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画

- ・ 日常業務の見直しを行い、すきま時間を上手に利用できるよう工夫を行う。
- ・ 担当外の利用者についても、情報を得るように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ 日常業務の見直しについては、職員体制も不安定な状態(入院・出産など)が多かったため、あまり進まなかった。
- ・ 担当外の利用者の情報については、カンファレンス等で情報共有がきちんと出来るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	7	4	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	3	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	4	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4	6	0	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ カンファレンス内で、利用者の思いや担当者の思い、『～したい』ということについての情報共有が出来る。
- ・ ライフサポートプランを使用し、担当者の想うケアについての取り組みを具体化出来ており、日々のケアに活かされている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 出勤日の役割によっては、想うような関わりやケアが提供出来ないことがある。しかし、他職員との情報共有できているため、お願いすることが出来ればきちんとケアが実施できている。
- ・ ご自分の意思を表現することが難しい方への取組みが不十分であると感じる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・ 関わりについて、全てを自分で行うのではなく、チームとしての関わりを重視し、他職員と情報の共有をきちんと行うことで、目標とすべきケアが提供できるように、日々の声掛けや、連携のとり方について工夫する。
- ・ 意向の把握が難しい方については、無理に自分でするのではなく、担当者や先輩職員、ケアマネージャーへ尋ねるなど、連携をきちんと行うようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (20 : 00 ~ 21 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 坂下、岩重、天野、成松、藤後、大川内、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	5人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>相談技術について、研修参加などの機会を設けてレベルアップを図る。</li><li>以前の暮らしぶりなどの情報について、担当者会議や送迎時など聞き取る機会を増やす。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>外部研修参加の機会を設けることが出来なかった。</li><li>カンファレンスや毎日の送迎、担当者会議録などから情報を集めることが出来るようになった。また、年度途中から『軒下マップ』に取り組み始めており、随時の記入を行う事が出来ている。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	9	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	6	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	11	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	10	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>体調の変化や気付きをリーダーへ報告する事で、職員間の情報共有や即時的な対応をきちんと行う事が出来ている。</li><li>カンファレンスやミーティング等で声にならない声を言語化出来るように取組みを行なっている。</li><li>本人の状況に合わせ、スタッフ各人が排泄等のケアをきちんと提供することが出来ている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>施設利用以前の暮らし方についての情報把握が、まだ不十分である。</li><li>外部研修の受講が出来ていない。</li><li>情報伝達について、時として不正確なことがあり、間違った情報としてスタッフ間で情報共有されている場合がある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>情報伝達やコミュニケーションについての外部研修受講を行う。</li><li>情報共有について、記録方法の整備を再度行い、間違った情報が共有された場合もきちんと訂正できるような仕組みを作る。</li><li>『軒下マップ』の利用を進め、内容の充実を図る。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (20 : 00～21 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 坂下、岩重、天野、成松、藤後、大川内、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居の方など、ホームの支援だけでは在宅生活が難しく、地域住民の協力や社会資源が必要になる利用者について、訪問や送迎の際に周辺住民の方に聞き取りを行ったり、社会資源について調査する。</li> <li>・利用者が住む地域における社会資源について聞き取りを進め、少しでも活用できるように取組みを行う。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居の方について、近隣住民の方と繋がる事が出来、怪我や変化があった場合に事業所へ連絡をいただけるようになった。</li> <li>・社会資源の活用まではできていないが、利用者の地域や関係者について記載した『軒下マップ』の活用を始めることができた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9	2	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	2	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	1	10	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	7	3	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や訪問時に、お会いした地域の方とはあいさつをするなどの取り組みが出来ている。</li> <li>・軒下マップの作成については、まだ、始まったばかりではあるが、利用者の住んでいる地域にある社会資源についての把握するための取り組みを行う事ができた。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所を利用されていない時間帯における社会資源についての把握が不十分であり、まだまだ出来ているとは言えない。</li> <li>・介護度の重い方について、地域との関係性が希薄になっていたりすることもあり、社会資源の把握が進んでいない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、取り組みを行っている『軒下マップ』について、上手く活用出来るように、訪問や送迎時に行っている挨拶などの活動を継続し、必要に応じてホームの連絡先やパンフレットをお渡しし、地域の方にホームを知っていただけるようにする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (20 : 00～21 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 坂下、岩重、天野、成松、藤後、大川内、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	8人	2人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の社会資源についての把握が進んでいないので、職員会議等で社会資源についての勉強会を開催し、少しずつでも社会資源について学ぶ場を設け、把握や利用につなげる。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議内での勉強会は出来ていないが、市の小規模多機能連絡会の勉強会内で『軒下マップ』について学ぶ機会があり、ホームでの取組みに繋げる事が出来た。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	1	10	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	9	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	10	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	8	3	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者や介護者の体調や、都合に応じ、『通い』『訪問』『宿泊』を組み合わせ柔軟に支援することが出来ている。</li> <li>事業所外の社会資源についての情報を集めるために『軒下マップ』の作成を始めることができた。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会資源について知識不足であり、活用するというレベルに達していない。</li> <li>社会資源の利用・活用が出来ていないため、自事業所での支援が主となってしまい、事業所を利用されていない時間帯についての不安がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>部内研修やカンファレンス内で、社会資源や軒下マップについての勉強会を開催し、理解を進める。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (20 : 00～21 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 坂下、岩重、天野、成松、藤後、大川内、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	5人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にある介護事業所として認識を深めてもらう為にも、地域住民へ向けた勉強会については年に1回程度開催するように町内会へ提案する。</li> <li>・事業所周辺の清掃活動を通じて地域の方との挨拶などの交流が持てるように取組みを検討する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会の提案をすることが出来ていない。</li> <li>・小松原公園の清掃活動には、担当のときに参加し同じ班の方と交流をする機会がもてている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	3	4	4	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	3	8	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	3	8	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	1	6	5	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議(長寿あんしん相談センター主催：出席～医師、ケアマネ、地域連携室、薬剤師など)への出席を行った。</li> <li>・町内会総会への出席をすることが出来た。</li> <li>・ボランティアの受入を定期的に行う事ができた。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事への参加が難しい(場所や利用人数などの問題)</li> <li>・地域での勉強会についての提案ができていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民へ向けた勉強会について、開催できるように働きかけを行う。</li> <li>・参加可能な町内会行事について話し合いを行う。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (20 : 00～21 : 00)

7. 運営

メンバー 坂下、岩重、天野、成松、藤後、大川内、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	3人	4人	11人

前回の改善計画

- ・勉強会の定期開催や、事業所周辺の清掃活動などを通じて地域の方に認知していただき、ホームとして関わられることを増やしていく。
- ・引き続き、周辺事業所との交流を模索していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・勉強会の定期開催をすることが出来ていない。
- ・市の長寿あんしん相談センターが主催する『地域ケア会議』へ出席することが出来た。新規事業所への訪問は出来ていないが、繋がりのある事業所とは訪問や電話でのやり取りをすることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	6	3	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	1	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	4	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	6	3	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・苦情や意見、要望が出された場合、話し合いや対応方法について検討を行い、その都度、きちんと対応することができている。
- ・どの職員でも、職員会議内で意見をいう事が出来ている。
- ・送迎時に、地域の方とお会いした場合積極的にあいさつを行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域と協働した取組みをすることが出来ていない。
- ・事業所としては関わる事が少しはできているが、一職員として地域とかかわりを持つことができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・地域に必要とされる拠点であるために、あいさつや清掃活動への参加を継続して行う。また、活動への参加者についても、多くの職員が関わる事が出来るようにする。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (20 : 00～21 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 坂下、岩重、天野、成松、藤後、大川内、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	1人	12人

前回の改善計画

- ・職場外の研修について、市の連絡会が実施する物だけでなく、介護福祉士会の研修など案内を受けたものについては積極的に参加するようにする。
- ・リスクマネジメントについて、ひやりはっと報告書をもう少し活用できるように申し送り等で共有できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員体制上の問題もあり、介護福祉士会が主催する外部研修の案内等の情報収集は出来ているが、外部研修への参加ができていない。
- ・ひやりはっと報告書、事故報告書の提出はきちんと出来ている。また、申し送りを利用した情報共有も出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	8	0	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	5	2	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	8	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	6	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・部内研修への参加はきちんと出来ている。
- ・地域の小規模多機能ホーム連絡会へ参加している。
- ・資格試験や研修受講のための勤務調整など適宜行う事が出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・外部研修への参加が出来ていない。
- ・ひやりはっとの活用について、全職員への周知などはきちんと行っているが、共有の方法など内容が不十分であると思う。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・外部研修への計画的な参加を行うために、個人目標にあわせた研修受講が出来るように、研修計画の見直しを行う。
- ・ひやりはっと・事故報告については、情報の共有(即時性・正確性)について工夫を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 20 日 (20 : 00～21 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 坂下、岩重、天野、成松、藤後、大川内、山下、猿楽、川崎、古賀、立中、森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	1人	1人	12人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチロックについては、言葉を置き換えても表情や声の強さなどで出しまわっていることを認識した上で、職員間で継続して話し合いを行い、少しでも減らせるように取組みを行う。</li> <li>・成年後見制度については、利用する方がいなくても勉強会を通じて理解が進むように取り組む。</li> <li>・身体拘束・虐待防止についてのポスターは、玄関やホールなど職員の目に付く場所にも貼り出しを行い、常に意識できる環境整備を行う</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチロックについて、言葉の置き換え等の取組みを行ったが、業務が忙しい時等守られていない。</li> <li>・成年後見制度について部内研修を開催し理解を深めることが出来た。</li> <li>・身体拘束・虐待防止についての文書を玄関に掲示し意識付ける環境作りを行った。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	6	0	0	12
②	虐待は行われていない	4	8	0	0	12
③	プライバシーが守られている	4	8	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	2	2	8	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	10	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束や虐待についての勉強会を実施することが出来ており、通常は他の言葉に置き換えるなどの知識を得ることが出来ている。</li> <li>・成年後見制度について、該当する利用者はいないが、部内研修として勉強会を開催することが出来た。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員によって、不適切なケアや言葉かけについての認識のズレがあり、特に忙しい時などスピーチロックは完全に無くなってはいない。</li> <li>・他職員の不適切な声掛けを目にしても、その場で注意できないことがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束や虐待に関する研修会(外部・部内)についての情報収集を行い、参加や実施を検討し、全職員で学ぶ機会を設ける。</li> <li>・</li> </ul>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディコープ	代表者	中道 浩二	法人・事業所の特徴	利用者様に『もうひとつのわが家』と思っていただけるよう、利用者様を中心に家庭的な雰囲気の中、お一人おひとりに合わせた支援方法が提供できるよう、職員一同日々の取り組みを行っています。利用者様やご家族に24時間安心して過ごしていただけるよう、通いを中心としながら、訪問、宿泊のサービスを適宜組み合わせる事で、利用者様やご家族に安心していただいています。 日常的には、利用者様を中心としたケアを提供するため、送迎時や連絡帳でのご家族との情報交換を大切にし、些細な変化も見落とさないように配慮を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす南谷山	管理者	坂下 税		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	2人	0人	1人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの入職時期や理解度に応じて自己評価を行う際、記載方法や自己評価の内容についての追加説明を行うなどのフォローを行うようにする。</li> <li>・事業所自己評価を行う際、一人ひとりのスタッフに発言してもらえよう会議時間の配分に余裕を持つようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの働き方や理解度に応じて記入する範囲を指定することで、記入に対する負担を軽減することが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所全体として取り組みが行われているようで良かったと思います。</li> <li>・出来ていないところの記載がきちんと出来ている点がよいと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方によって関わり方も違うので、それぞれの働き方に合わせた評価の仕方は継続して行う。</li> <li>・改善点として出てきた点についてきちんと改善を行う。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外だけでなく、玄関内も過ごしやすく親しみやすい空間にするようにソファの配置や花を置くなどの環境整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関にプランターの花を置いたり、ソファを配置したりして、環境整備が出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不快な音や臭いはなく、居心地も良いと思います。</li> <li>・施設を外から見たときに、特別に入りにくいということはないと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方が、気軽に立ち寄ることが出来るように、玄関に花を置くことを継続して行う。</li> <li>・介護相談が出来るところであると認識していただくために、介護相談についてのポスター掲示を行う。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中での認知を進めるため、ホームの見学会や、地域へ出向いての認知症の勉強会などの地域活動を計画する。</li> <li>・運営推進会議の準備と同時に地域版のホーム便りを準備し、回覧板での配布をお願いできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学会、勉強会ともに開催することが出来なかった。</li> <li>・地域版のホーム便り作成が間に合わず、回覧板での配布に至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での勉強会や見学会については実施できていませんので、また、次年度以降取り組んでいきたいと思います。</li> <li>・「おあしすに通っているよ」と地域の方と話しても、おあしすってどこにあるのと言うレベルの認知度のようです。事業所としての認知度はまだ高いとはいえない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で確実に地域版のおあしす便りを準備し、回覧板で定期的にホームの情報を発信できるようにする。</li> <li>・今年度は開催できなかった、地域での認知症の勉強会について計画する。</li> </ul>

			<p>と思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「軒下マップ」というものを初めて見ましたが、利用者を取り巻く関係者を見ることが出来るところが良いと思いました。</li> </ul>	
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様の生活地域における支援や地域の方との関係作りについては継続して行う。</li> <li>・町内の行事については回覧板を参考に参加できるものを検討するし、地域の祭りなどへの参加など気軽に取り組めるものから始める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者限定ではあるが、地域の方との関係作りが進んだケースもあった。</li> <li>・回覧板をチェックはしていたが、行事への参加濱田出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか実際に外で見る機会はないのだけれど、ホーム便りや廊下にある写真で、利用者の方が外出されているのを見ることが出来ています。</li> <li>・送迎の際に挨拶をしていると事業所評価の中にも記載があるように、改善計画への取組みが出来ていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様の生活地域における支援や地域の方との関係作りについて、取組みを始めた『軒下マップ』を活用し、関係者の把握や支援内容の充実を図る。</li> <li>・町内の行事について、総会資料や回覧板を参考にして参加できるものを検討し、参加できそうなものについては参加する。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、運営推進会議内で地域の困りごとについてお話を伺う取組みを継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議内で、地域の困りごとについて話し合う機会を設けることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「軒下マップ」について確認する事が出来、私達地域住民や民生委員、ホームのスタッフさんなど、利用者さんに関係している人を知ることが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議内で、地域の困りごとについて話し合いを継続して行い、支援や相談が必要な場合には、ホームの見学や関係各所へつなぐ取組みを行う。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日程調整をして地域の消防訓練へ参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の消防訓練への参加を計画していたが、日程の調整が付かず参加できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際、災害時に出来ることと言うのは限られていますが、おあしすとしてはどういった支援が出来るのかを知りたいと思いました。</li> <li>・どういった施設が災害時に頼りになるかわかりませんが、期待をこめて頼りになるにチェックしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練や消防訓練への参加を検討する。</li> <li>・非常災害時、ホームとしてどういった支援が可能か検討を行う。</li> </ul>

